



(低料第三種郵便物)



2026年4月発行

社会福祉法人 ありのまま舎
(障害者自立企画)

発行責任者 白江 浩
編 集 佐藤 環

〒982-8544

仙台市太白区西多賀4丁目19-1

TEL 022-243-1300

<http://www.arinomama.or.jp/>

E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

1976年4月10日発行 第3種郵便物認可(毎週4回月・火・木・金曜日発行) SSKO通巻12159号

2026年度 社会福祉法人ありのまま舎事業計画

2025年度も国内外で災害、戦争、紛争などにより多くの生命と財産が失われ、支援を必要とする人が多くおられ、またSNSによる誹謗中傷も後を絶たず、多くの人が苦しみの中にあり、ありのまま舎の目指す理念や目標とはどんどん遠ざかっていっているような気がします。それでも諦めず微力であっても日々継続して、自分たちの役割を果たしていくことが、私たちの使命であり、存在理由だと思っています。昨年度災害対策基本法・救助法に「福祉」が入り、法制度上も災害福祉による支援が災害対策、救助においてその役割が求められることとなりました。ありのまま舎では仙台市、亶理町との協定並びに指定による「福祉避難所」の体制がとられています。より充実した体制整備に取り組み、併せてコロナ禍終息以降、やや意識低下がみられる感染対策に科学的知見と人権意識に基づき、人権と生命を守る対策を継続していき



8年目を迎える地域生活支援拠点
「県南ありのまま舎」

きたいと思っています。今年度は法人設立40周年を迎え、11月に記念式典を予定しています。これまでの40年+α(法人化前)も顧みながら、さらに役割を増す、ありのまま舎活動のこれからを展望し進める取り組みとしていきたいと思っています。次ページより各エリア、事業所の事業計画と抱負を掲載しています。

薫る風

二〇二六年度がスタートした。一日には例年通り開所記念会を太白ありのまま舎で行った。今年度は法人四〇周年にあたり、彬子様ご臨席の下、十一月二十四日に仙台市内で記念会を行うことになった。そのために、四月一日は、コロナ禍から恐る恐るの再開スタートとなった昨年並みの規模とした。四十年いや、一年を振り返っただけでも、多くの入居者が亡くなられた。四十年で五十八人。太白ありのまま舎だけ四十七人の方が亡くなられた。この一カ月の間にもふたりの方が亡くなられた。施設で最後まで生活しながら天に召された方は約半分。最後までお別れができた方々だ。それ以外の方の大半は入院中に亡くなられ、そのまま自宅や葬儀場に移られ、入居者はお別れができなかった。かつて、山田三兄弟始め、筋ジス病棟に入院中に同病の仲間が亡くなっても、お別れできなかった思いから、ありのまま舎では可能な限り、ホールで棺の前に別れの会を行ってきた。行く末を見ることになり、しない方がいいのではないかと、との意見もあった。しかし、共に過ごした方々との最後の別れは、私の経験からも必要だと思ふ。最近障害分野でも「看取り」が課題に上ることが以前に増して増えた。いろいろ理由はあがるが、機能障害の相違で差はあるが、機能障害が加齢速度を数倍早めるとも言われている。見た目だけではなく、様々な形でその影響は見える。医学の進歩がそれを多少遅らせることはあるが、日本全体の高齢化に伴い、障碍のある人の高齢化も顕著で、「看取り」が課題に上がることが増えた。ありのまま舎では「看取り」という言葉は使わない。最後まで「生ききる」ということでホスピスケアと言ってきた。再び自己実現に向けて旅立つのが本来のホスピスケアだ。今回もそれは叶わなかった。(白江浩)

社会福祉法人

ありのまま舎

【基本理念】 ケアコミュニティの創造

お互いのありのままの存在を認め、尊重し、共に生きるコミュニティづくり

1. ケアの本質に沿ったコミュニティづくりを目指す
2. 全ての人がありのままの自己を認め、ありのままの他者を尊重するコミュニティづくりを目指す
3. 誰もが生きた意味を見出し、役割を担い、自らの人生を全うでき、自己実現できるコミュニティづくりを目指す
4. 多様な人々、専門性、分野が相互作用し、ケアしあうコミュニティづくりを目指す



西多賀エリア

仙台エリアコミュニティ

仙台市(西多賀・茂庭台)における地域生活支援拠点の構築計画の策定と具体化を進めます。私たちが目指す「地域生活支援拠点」は8つの機能です。

- ①相談機能 ②緊急受け入れ
- ③体験の機会・場所 ④専門的人材の確保・養成(医療的ケア、行動障害の方を専門的に対応できる体制)
- ⑤地域づくり ⑥被災防災減災支援 ⑦人権擁護 ⑧居住支援 です。

既存の事業所を活用し、ケアセンター(ヘルパー派遣)、ナーシングケア(訪問看護)の再開、開所を目指します。

【法人本部】

第2期5か年計画4年目にあたり、仙台・名取・県南(亶理等)における地域生活支援拠点構築に向けた独自の取り組みを基本軸として、様々な活動を各コミュニティエリアで進めて参ります。昨年度も外国人の受け入れを行い、これまで10名が入職しました。引き続き外国人人材確保を拡大し、質的向上も併せて取り組んでいきたいと思

【理念の発信 (活動センター)】

福祉講座は例年通り実施し、自立大賞は第25回をもって一旦休止となりましたが、新たな取組みについて具体的に提案、協議してまいります。彬子女王殿下、瑠子女王殿下とご相談しながら共に進めてまいります。

会報「自立」は4月からカラー印刷を行い、より分かりやすく、伝わりやすい紙面作成に努めます。「映画制作・上映活動」では所有映画作品のDVD(字幕挿入)が完了し、今後貸し出しやスタッフ研修での活用を本格化していきたくと思います。

バザーやショップの運営は、地域交流と収益活動のため年間を通しての開催を継続してまいります。

自立センターではありのままショップやバザー会を行っております。ありのままショップでは、会員様へのラインでの様々な通知を行い、足を運んで頂けるようにします。また、バザー会では来てみて楽しかったと思えるよう、様々な商品を出して頂けるようにしたいと思っております。

昨年度同様に定期のバザー会以外でも、地域のお祭りや学校の文化祭への参加、地域イベント参加等も行いますので、地域でお見かけた際には、お気軽にお立ち寄りください。

(副主任 川尻誠)

【ホームケア仙台ありのまま舎り ビングセンター】

ホームケア仙台ありのまま舎(グループホーム)は、定員7名で入居者の重度重症化が大きな課題です。夜勤等も含めた日中支援型への転換または用途を立てたいと思っております。入居者確保を継続し、安定した黒字運営を維持すること、また地域連携推進会議の開催、地域行事への参加も継続してまいります。



自立ホームの飛行船

【難病ホスピスケア 太白ありのまま舎】

2026年がスタートしました。現在7名の方が生活しています。最近の傾向として重度の方と軽度の方の差が大きくなってきています。そのため必要な方には訪問診療、訪問看護、訪問リハビリなど外部からの支援を積極的に受けながら、関係機関と相談、連携を図り入居者の生活を支えています。その様な中でその方がどんな生活を希望されているかご本人の意思決定を大切にしながら、困った時は一緒に考え一歩を踏み出せるように努めてまいります。スタッフも体調に気をつけながら連携を図り対応していきたくと思います。

(ホーム長 佐藤稔)

太白ありのまま舎(障害者支援施設)では、アクティビティケア(日中活動)の外部からの通所20名の利用者拡大と医療型ショートステイの受け入れ拡充を目指します。重度の難病や障害があっても、自己決定に基づき自己実現できる場としての役割を十分に発揮できるように体制整備に努め、意思決定及びその支援に取り組んでまいります。



ありのまま
の見える
守る彫刻
「自立」
舎玄関

【ケア】

今年度から「入所施設の利用者にどこで誰とどのように暮らすのか」をしっかりと確認し、ご本人の意向に従った支援を行うことが義務付けられました。

これまでも色々な場面において、ご本人の意思を確認し行ってきましたが、今後はより一層ご本人の思いをしっかりと聞き、ご本人以外の誰かの意思に沿うような決定ではなく、ご本人の意向による決定が出来るようサポートすることが求められます。

スタッフ一人一人がしっかりと意思決定支援の考えを理解し、入居者個々と向き合い、幸せを感じられる環境を作っていきます。

(ケアチーフ 鹿野和彦)

【メディカル】

この茂庭台でも今年度は積雪をあまり目にする事がありません。開花の便りが届いてきました。「今年も暑いかな〜!」と思いつつ、昨年流行語大賞ベスト10の一つ、「二季」が浮かびました。入居者の方々の体調管理には気温が大きく関わっていて、状況に合わせた対応が必要となってきます。日本ならではの「四季」が「二季」と変わっていくであろう季節感の少なくなつた中で、慎重に取り組んでいかなければと感じています。

(メディカルマネージャー 菅野優子)

【アクティビティケア】

アクティビティは外部からの通所利用と、リハビリは入居者および外部利用者のリハビリを、PT・ST・OTと様々な角度から継続していきたいと思えます。そして今年度は東日本大震災から15年になりました。通所している時間に大きな地震が来る可能性があります。ご本人やご家族と地震が来た際の対応について再確認をしていければと思っています。

(アクティビティケアチーフ 佐藤信広)

【栄養マネジメント】

新年度を迎えるにあたり、改めてご本人の意向に沿った支援ができるように意識しながら日々の業務に取り組んでいきたいと思えます。また、物価高騰や人員不足といった課題が続く中でも、限られた環境だからこそできる工夫や効率化を図りながら、食事の質を落とさないように努めて参ります。

(リーダー 阿部里菜)

【チャイルドケア】

仙台ありのまま舎保育園

少子化も相まって地域の利用者が少ない現状があります。安定運営の確立及び子ども支援等について方向性を示していきたいと思えます。保育園の役割だけでなく、障害福祉サービスとしての子ども支援への取組を昨年度に引き続き検討していきます。

心地よい春風のなか、新年度を迎えました。戸外遊びが気持ちの良い季節ですね。晴れている日は、今日はどこにこんなかな、滑り台しようかなとワクワクします。今年度も、戸外遊びや様々な経験を重ねながら、穏やかに楽しく過ごしていきたいと思えます。現在は医療的ケアや配慮が必要なお子様のお預かりはしていませんが、ご要望がありましたら、可能な範囲で力になれるよう努めて参りたいと思えます。

(園長 春日麻里)

【仙台市基幹相談支援センター(委託事業)】

2026年度から2028年度までの受託が決まり、引き続き仙台市と連携しながら法人理念に則り、取組んでいきます。3カ年の委託に基づき本格的な地域生活支援拠点機能強化と運営に向けて仙台市と協議を重ねながら進めていきます。また仙台市における障害者相談支援事業所等の中核的役割の充実を図っていききたいと思えます。

名取エリアコミュニティ

【サポートケア名取ありのまま舎 難病・障害者相談支援センター】名取市における丁寧で着実な実行を進めていきます。

特に地域生活支援拠点整備実行計画の8機能を軸に現在の名取エリアの実情に合わせた策定していききたいと思えます。また地域への情報発信やつながりのための行事の実施、個別支援を通しての繋がり等により、地域住民・各関係機関との連携体制を構築していきます。

仙台市障害者基幹相談支援センターは、今年度から3年間の業務を仙台市より受託いたしました。昨年度は初めて、通年での業務を行い、一つひとつ確認をしながら業務を行ってまいりました。その中で、仙台市内の相談支援事業所や行政の方々に仙台市の現状やこれまでの取り組みなどを教えていただきながら、少しずつ協働することができたと感じています。今年度はさらに関係機関との連携を強化し、仙台市の相談支援体制充実に向けて取り組んでいきたいと思っております。引き続きよろしくお願いたします。

(マネージャー 佐々木晃)

新年度も前年度同様のスタッフでの始動となりました。今年度は第7期障害福祉計画の最終年度です。地域課題の検討状況や目標達成度の検証時期となります。相談支援においては自立支援協議会にて、セルフプラン率の削減や相談支援専門員の質の向上に取り組んで参りました。これまでの活動を成果に繋げられるような年度にしたいと考えております。

(センター長 熊谷経子)



子どもたちの健全な成長を育んでいきます。



県南(岩沼市・亘理町等) エリアコミュニティ

難病ホスピスケア亘理ありの
まま舎(施設入所・日中活動・
ショートステイ)、サポートケア
亘理ありのまま舎基幹相談支援
センター、サポートケア県南あ
りのまま舎(相談支援)、が活動
を担う拠点です。

8年目を迎え、県南地域生活
支援拠点の中核として8機能を
確実に発揮するという本来求め
られている役割が十分に果たせ
るよう体制整備を目指します。

【難病ホスピスケア 亘理ありのまま舎】

理念の実現に向けた活動の充
実を図り、またショートステイ
は亘理町の緊急受入枠(1部屋)
としての役割機能を追求してい
きます。また入居者支援のため
のケアの質の向上に努め、各委
員会や地域との交流も行ってい
きます。



地域生活支援拠点
「県南ありのまま舎」

【ケア】

3月になり温かいが続き、春の
訪れを感じるようになりました。
2025度は新型コロナウイルス
の感染が発生しましたが、前年度
の反省を生かし、クラスターを抑
える事が出来ました。体調不良
にて突然、お別れをしなければな
らない入居者様もおりました。開
設して8年経過し、入居者様の体
力の低下により、歩行の維持など
が困難になってきている方もいま
す。その度、カンファレンスやご家
族との情報交換を行い、安全に生
活して頂けるよう、生活環境を検
討して、未来を見据えて生活して
頂ける環境づくりを実施していき
たいです。

(ケアリーダー 内海彩香)

【メデイカル】

昨年末、開所当初から入居され
ていた方が呼吸障害により気管切
開となり病院に移されました。あ
りのまま舎へ戻りたいとの思いを
残念ながら叶えてあげることが出
来ませんでした。開所当初より「医
療的ケア」「ケアの質の向上」両面
の充実を目指してきましたが受け
入れ可能までには至っておらず、
残念な思いを感じる。同時に、医
療的ケアを必要とされる方々が、
一日も早く安心して過ごせる施設
へと改めて取り組んでいこうと思
います。

(メデイカルマネージャー
菅野優子)

【アクティビティケア】

アクトケア県南はスタートか
ら8年目を迎えました。日中のご
利用から慣れて頂いて、ショート
ステイ、入居される方も増えてき
ました。また新規に利用希望の方
は入浴のご希望も多く、入居者と
地域利用者の方の調整も難しく
なってきました。2月にはミヤン
マーからの特定技能実習生の2
人を迎え、入居者、地域利用者の
活動メニューを充実させて、より
良い時間を過ごして頂けるよう
取り組んで参ります。宜しくお願
い申し上げます。

(アクティビティケア
センター長 金子仁)

【サポートケア亘理ありのまま舎 基幹相談支援センター】

亘理町が求める基幹相談並び
本来あるべき基幹相談の姿を追
究し、障害・難病等をはじめと
する地域住民への責務を果たし
て行きます。障害福祉サービ
ス事業所と連携を図り社会資源の
改善及び開発に努めていきます。

サポートケア亘理ありのまま舎
基幹相談支援センターは、開所し
て8年目を迎えました。今年度も
人事異動に伴い、新しい人員体制
での事業運営となります。

誰もが地域で自分らしく生活で
きるような地域づくり・街づくり
を目標に、地域の支援機関の皆様
と共に日々支援していきたくと思
います。(センター長 馬場美和)

【サポートケア県南ありのまま舎 (難病・障害者相談支援センター)】

これまでの相談支援実績を踏
まえつつ、また亘理町内で開設
している唯一の地域型委託相談
支援事業所として求められる役
割とニーズを受け止めながら、
拠点県南ありのまま舎との継続
した連携支援を図っていきます。
昨年度モニタリング等の遅れが
あり、その解消をするとともに
正常化し信頼回復に取り組んで
いきます。

4月1日付でサポートケア県南
ありのまま舎に配属となりました。
昨年までは亘理町の基幹相談
支援センターに勤務しており、今
回一年ぶりに古巣へ戻る形になり
ます。今まで培った経験を活かし、
相談者の皆さんの様々な希望や困
りごとを聞かせていただきながら、
一緒に考え必要なお手伝いが
できるような事業運営に努めてい
きたいと思えます。

(センター長 蒲生豊一)

2026年度も「指導」「支援
をよろしく願っています。」



業 務 内 容

社会保険や労働保険手続・助成金申請代理・会社設立・各種許認可申請・労働や経営相談 他

お気軽にご相談ください。

社会保険労務士・行政書士 須田事務所

〒981-0916 仙台市青葉区青葉町16-1・2階 TEL:022-344-8620 FAX:022-344-8621

1976年2月25日 第3種郵便物認可(毎週4回月・火・木・金曜日発行)

第37回

ありのまま 生活福祉講座



座長

あきこじょうてんか
彬子女王殿下

日時

令和8年6月13日(土)
13:30 ~ 16:00

場所

仙台市中小企業活性化センター
(AER) 5階 多目的ホール

〒980-6105

宮城県仙台市青葉区中央1丁目3-1

参加費

一般 2,500 円 (学割・団体割有り)
会員 2,000 円 (年会費 2,000 円、入会金初回のみ 1,000 円)

講師

いしかわ じゅん
石川 准氏 (社会学者、静岡県立大学名誉教授)

演題「ありのまままで生きられる社会へ — 共生社会を設計する」

1956年、富山県生まれ。16歳のとき、網膜剥離により失明。全盲で初めて東京大学に点字入試で合格する。東京大学文学部卒業後、同大学大学院社会学研究科修士課程を修了し、博士課程単位取得退学。博士(社会学)。1989年より静岡県立大学国際関係学部にて教育・研究に携わり、1997年から教授、のち名誉教授。専門は社会学・障害学で、障害を社会の問題として捉える視点から研究と実践を続けてきた。また、視覚障害者の生活を支える支援機器の研究・開発にも取り組み、静岡県立大学発ベンチャー企業である有限会社エクストラの代表取締役を務める。2012年から約10年間、内閣府障害者政策委員会委員長として日本の障害者政策の検討と制度づくりを主導。2017年から2020年までは国連障害者権利委員会委員(2019~2020年は副委員長)として、障害者権利条約の実施状況を国際的な立場から審査・提言してきた。研究・政策・当事者の視点を行き来しながら、障害者の人権保障と社会参加の実現に取り組んでいる。



ふじさわ むらさき
藤澤 紫氏 (國學院大學文学部教授 国際浮世絵学会常任理事)

演題「浮世絵は海をこえて—江戸の暮らしと文化の交流—」

学習院大学大学院人文科学研究科哲学専攻博士後期課程単位修得。博士(哲学)。千代田区文化財保護審議会委員、品川区立品川歴史館専門委員、財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団評議員ほか。専門は日本美術史、日本文化史、比較芸術学など。特に浮世絵を軸とした研究を進めている。NHKで放送中の「浮世絵EDO-LIFE」の浮世絵監修、「くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵」展などの監修もつとめる。

《著書》(近著)『めちゃくちゃわかるよ!浮世絵大図鑑』(著書、大和書房、2025年)『イチから知りたい日本のすごい伝統文化 絵で見て楽しい!はじめての浮世絵』(共著:藤澤紫・藤澤茜、すばる舎、2025年)『楽しく脳活 クイズで学ぶ浮世絵入門』(監修、小学館、2025年)『NHK浮世絵EDO-LIFE 浮世絵で読み解く江戸の暮らし』(監修、講談社 2020年)『くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵 江戸の子ども絵・おもちゃ絵大集合!』(監修:藤澤紫・加藤陽介、青幻舎、2018年)など。



主催/ (社福) ありのまま舎・(株) 河北新報社・tbc 東北放送 (株) 協賛/ サントリー (株) 東北営業本部
後援/ 宮城県(予定)・仙台市(予定)

ありのまま舎とは

社会福祉法人ありのまま舎は、「難病や障害を持つ方も持たない方も、子どもも高齢者も、誰もがありのままに暮らせるコミュニティづくり」を目指しています。本講座をはじめ、難病や障害を持つ方々の顕彰など、様々な啓発活動を行っております。

ありのまま生活福祉講座とは

福祉を身近なものとして理解して頂き、共に考えていく場となることを願い、1987年より毎回開催しているものです。当講座の座長には、前座長の故寛仁親王殿下の第一女子であられる彬子女王殿下が、第29回よりご就任くださいました。福祉にとらわれず各方面にわたって活躍されている方々を講師にお招きして開催しています。

会員特典 (限定 300 名)

福祉講座会員とは、本講座の意義をご理解頂き、長い目でご協力頂ける方になります。初回のみ入会金 1,000 円と年会費 2,000 円がかかりますが、その年の福祉講座参加費が無料となります。

また、右の受講ノートが貰え、講座に参加する度に、受講印・オリジナル座長印が押印されていきます。



ありのまま生活福祉講座 座長 彬子女王



受講について

直接、チケットをお買い求めいただくか、お振込みでのお支払いが可能です。

お振込みでのお支払いをご希望される場合は、お申し込み後に当舎からご自宅へ振り込み用紙を送付いたしますので、そちらをご利用ください。

お申し込みはお電話、FAX、メールにて可能です。お電話の際は、以下の内容をお伝えください。FAX、メールの場合は、以下にご記入の上、データをご送信ください。

No.	お申し込みされる方について、必要事項のご記入と当てはまるものに○をお願いします。	
1	ふりがな 氏名	【会員区分】 一般・会員・新規会員申込み
	住所	
	電話番号	【お支払い方法】 事前手渡し・事前お振り込み・当日現地支払い
	メールアドレス	
2	ふりがな 氏名	【会員区分】 一般・会員・新規会員申込み
	住所	
	電話番号	【お支払い方法】 事前手渡し・事前お振り込み・当日現地支払い
	メールアドレス	

※ 2名以上でお申し込みされる場合は、この用紙をコピーしてお申し込みください。

※ 講座受講にあたっては、防犯上の観点から受付・入場時に受講者のボディチェック、荷物チェックがあります。危険物(裁縫用のハサミ等も含む)は受付でお預かりとなりますので、予めご了承ください。

お申し込み・
お問い合わせ先

社会福祉法人ありのまま舎
電話 022-243-1300
FAX 022-243-0322

〒982-8544 仙台市太白区西多賀 4-19-1
HP <http://www.arinomama.or.jp/>
E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

「ご支援頂きありがとうございました(敬称略)」

【書損じはがき等】

26 2/28 3/26
【バザー提供】

【バザー開催日のご案内】
《2026年5月》

- 5日(火) ヨークベニマル山田鉤取店
- 7日(木) ヨークマルシエ大和町店
- 12日(火) ヨークベニマル南吉成店
- 14日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば
- 19日(火) ヤマザワ茂庭店
- 26日(火) 袋原(向日葵ライフ サポートセンター)
- 28日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば
- 30日(土) ありのままショップセール (仙台ありのまま舎)

【ボトルカンパ】

26 2/27 3/26
ウジエスパー 仙台中山店

【青葉区】 17,973円
宮城を代表するスーパーマーケットで、地元食材を使ったお惣菜が全国コンテストで優秀な成績を収められています。

ありのまま舎事務所(太白区)

1,230円

お陰様で法人設立より四十年の節目を迎えます。本場に多くの皆様のお支えによりましてこうして活動が続けられます事を嬉しく思います。

ありのままショップ(太白区)

2,512円

ありのままショップにご来店下さるお客様よりのお気持ちをいただきました。月一回のショップセールを中心に本場に多くのお客様に支えられております。

(鈴木一彦)



ありのまま舎ホームページQRコード

ありのまま舎後援会(敬称略)

26 2/21 3/31

会員の皆様のご支援に感謝申し上げます。(佐藤環)

【自販機販売設置支援】

◆サントリービバレッジ

2月分の売上の一部を寄付頂きました。

こくみん共済coop

宮城推進本部 787円

ありのまま舎(自立ホーム・太白ありのまま舎・サポートケア

県南・亘理ありのまま舎)

4,823円

後援会員募集

年々会員の方が減少してあります。後援会員としてありのまま舎活動を応援しませうか。

【年会費】

・法人 20,000円

・個人 10,000円

・賛助 3,000円

◆途中退会も可能です。

「ご協力ありがとうございました(敬称略)」

【本部】

◆会報発送のための帯封の糊付けを、東北学院榴ヶ岡高等学校有志・個人の皆様にお手伝いいただきました。

◆会報の折り込みは、日本基督教団東北教区仙台いずみ愛泉教会と仙台川平教会の婦人会の皆様にご感染対策をとりながらお手伝いいただきました。また、自立ホーム入居者有志の皆様は、体調をみながらお手伝いいただいています。

◆バザー会では、各会場でコロナ感染症予防に気を付けながらお手伝いいただいています。ショップセールの会場でも、開始準備や片付け等のお手伝いいただきました。

【太白ありのまま舎】

茂庭台ボランティアグループの皆様や、宮城県車いすダンス協会様などに協力いただいている活動については、基本的な感染対策に気を付けながら、活動を進めていきたいと考えております。

皆さまが寄せてくださるあたたかな思いに、日々支えられています。心強い励ましと、いつも変わらぬお心を寄せていただき、本当にありがとうございます。(遠藤寿子)

フラワー 虹の丘本店は新店舗にて元気に営業中!

スマホで簡単予約♪
モバイルオーダーはじめました→



ご来店やドライブスルーでお受け取りのご注文をスマートフォンで簡単にご予約いただけます!



- 虹の丘本店 仙台市泉区虹の丘4-14-1 TEL022-375-4411
- 泉中央 SELVA 店 仙台市泉区泉中央1-4-1 TEL022-371-0311
- 北仙台店 仙台市青葉区昭和町5-42 TEL022-728-4411